

# 東京2020オリンピック 卓球日本代表の水谷選手、丹羽選手が明大を訪れメダル獲得を報告



(左から)水谷選手、丹羽選手

PICK  
UP!  
この  
一枚

東京2020オリンピックに出場した、卓球・男子日本代表の水谷隼選手（2013年政治経済学部卒）、丹羽孝希選手（2017年政治経済学部卒）と、明治大学体育会卓球部名誉総監督の児玉圭司氏が8月25日、駿河台キャンパスを訪れ、大六野耕作学長、柳谷孝理理事長が出迎える中、メダル獲得と五輪での戦いを報告した。

水谷選手は今大会の新種目・混合ダブルスで日本の卓球競技史上初となる金メダルを獲得。さらに、水谷・丹羽両選手が出場した男子団体では見事銅メダルを獲得し、日本中に感動を与えた。両選手は2016年リオデジャネイロオリンピックでメダルを獲得した際にも大学を訪れており、再び母校で笑顔の報告となった。